

企画展

ようこそアオバト^{がっ かい}楽会へ

- 新たに解明されたアオバトのふしぎ -



平成 29 年 7 月 15 日〔土〕～9 月 3 日〔日〕

- 会期中の休館日 毎週月曜日（7 月 17 日は開館・18 日は振替休館）、8 月 1 日、9 月 1 日
- 開館時間 午前 9 時～午後 5 時
- 入館料 無料



いそべえ

©2011 OISOMACHI

共催 こまたん

大磯町郷土資料館

Oiso Municipal Museum

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1
TEL. 0463 (61) 4700 FAX. 0463 (61) 4660
<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/oisomuseum/>

企画展「ようこそアオバト楽会へ」の開催にあたって

平成18年度企画展「アオバトのふしぎ（会期：平成18年5月28日～7月30日）」に引き続き、アオバトをテーマにした企画展を開催します。展示の構成は、前回の企画展と同様に『こまたん（湘南地域を基点に野鳥観察を中心とした自然観察をしている団体）』によるアオバト調査の成果を中心にまとめています。

『こまたん』は、アオバトの不思議な魅力に興味を持ったサラリーマン、技術者、教員、主婦、リタイア世代など地域の方々によって構成されています。長年の地道な活動により、これまで知られていなかったアオバトの謎がどんどん解明されてきています。地道な活動は、まずは調べることの楽しさ、調べたことを共有する楽しさ、人との触れ合い、また、謎に対する探求心が原動力になっているものと思われます。

このたびの企画展では、アオバト調査の楽しさを表現したいと思い、タイトルは「ようこそアオバト楽会へ」としました。「アオバト楽会」は、架空の団体です。展示を見られた方が皆、調査員の一員となって楽しみながらアオバト調査を体感していただければ幸いです。

アオバト *Treron sieboldii* Japanese Green Pigeon 緑鳩

どんな鳥？

アオバトは全長約33cmの中型のハトで、全体が緑色の美しい羽色です。頭から胸にかけては黄色味が強く、腹部は白っぽい色をしています。雄は翼の肩の部分がアズキ色なので、雌との見分けが容易です。成鳥のくちばしとアイリングは雄、雌ともにライトブルーです。幼鳥の雄は肩のアズキ色がまばらなので、成鳥と見分けることができます。食べ物は果実が主です。

どこで観察できるの？

アオバトは丹沢山地では少ない鳥ではなく、平成14年（2002）に繁殖が確認されました。春から秋にかけては、海岸の岩礁に群れで飛来し、海水を飲むことが知られています。大磯町の高麗山や鷹取山などでは「アオー、アオー、オーウォー、オーウォー」と鳴く声が聞かれることもあります。

不思議な生態

大磯町の照ヶ崎海岸では、5月から11月にかけて丹沢から飛来する群れが観察されます。岩場の窪みで海水を飲んだり、海面に浮かんだり、尾羽や脚を海水に浸けたりする不思議な行動が見られます。

なぜ海水を飲むの？

アオバトは繁殖期には、果実だけしか食べず、栄養分や水分を体内に吸収するのに必要なナトリウムの確保のため、海水を飲むのではないかということが分かってきました。



アオバトの雄



集団で飛来するアオバト



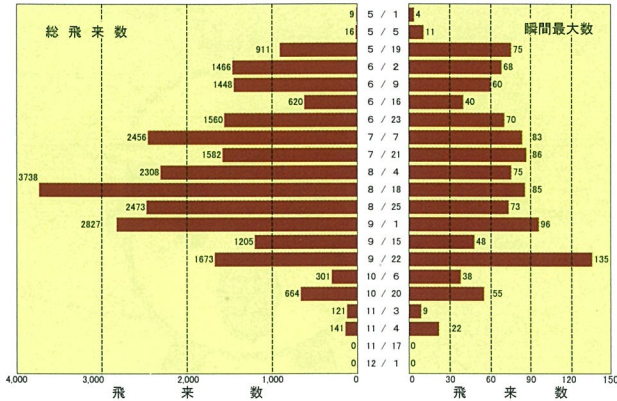
尾浸けをするアオバト



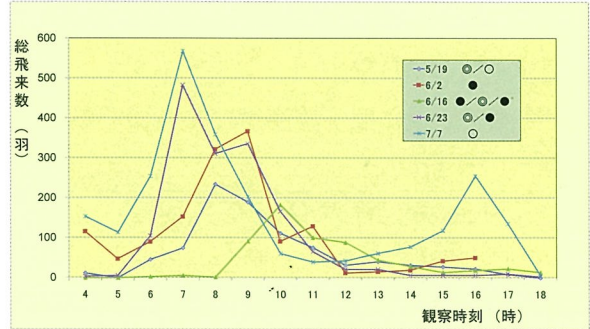
海水を吸飲するアオバト
(左：雌、右：雄)

数はどれくらい？

照ヶ崎海岸での観察記録では、一度に見られた最大の数は、平成22年（2010）9月11日の518羽です。午前6時から10時までで飛来総数が3,000羽を超えることもあり、日本最大級のアオバト飛来地ではないかと思われます。丹沢山地と照ヶ崎の間にある鷹取山周辺では50～60羽の群れが観察されています。



照ヶ崎におけるアオバト飛来数の季節変化 [平成3年(1991)]



照ヶ崎におけるアオバト飛来数の時間変化 [平成3年(1991年)]

照ヶ崎のアオバト

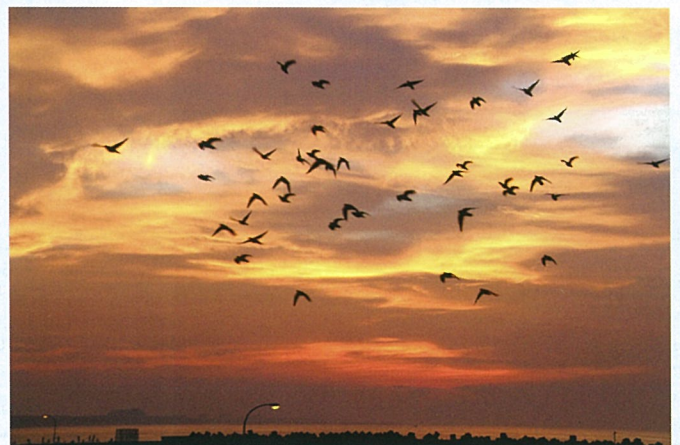
照ヶ崎海岸の岩場で、アオバトの糞を採取して糞に含まれる種子の種類を判定したところ、丹沢山地の標高1,000m以上の場所に分布するミヤマザクラの種子が出てきました。このことから、アオバトは大磯から約20～30km離れた丹沢山地から飛来してくることが証明されました。

アオバトは群れを作って飛び回り、岩場に降り立ちます。岩場では窪みに溜まった海水にくちばしを浸けて、吸い込むように飲みます。このような行動をするのは、アオバトの食べ物（果実）にはナトリウムがほとんど含まれていないので、体内のナトリウム濃度を確保し、栄養分や水分を効率よく吸収するために海水吸飲を行っているのではないかと分かってきました。

照ヶ崎海岸への飛来は5月初め頃から11月初め頃まで続きます。7月下旬からは幼鳥も加わり、8月にかけてピークを迎えます。夜明けから午前中が飛来数の多い時間帯です。早朝の方が大きな群れを観察するチャンスが多いです。また、前日に付近の森に泊まり、日の出とともにやってくるアオバトもいます。朝日に輝くアオバトの美しさは、一度見るときっと忘れられなくなるでしょう。

果実名	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ヤマザクラ		■	■	■		
キイチゴ類		■	■	■		
ヤマグワ			■	■		
クマヤナギ			■	■	■	■
ミヤマザクラ			■	■	■	■
ミズキ			■	■	■	■
クマノミズキ					■	■
エビヅル					■	■
ヤマブドウ					■	■
アオハダ					■	■
ムクノキ						■

アオバトの果実採餌時期



朝焼けの中を飛来するアオバト

※ 本紙は、こまたん編『アオバトチラシ』をもとに作成しました。写真はいずれも金子典芳氏からご提供いただきました。

展示の概要

○ 夏はどこで暮らし、どんな生活を送っているの？

初夏から秋にかけて、アオバトがどこで、どんな生活をしているのか、その謎に迫ります。

○ 冬はどこで暮らししているの？

アオバトの冬の暮らしを紹介します。

○ アオバトは何を食べているの？

アオバトの食べ物の好みを紹介します。

○ なぜ海水を飲むの？

なぜ海水を飲み、照ヶ崎海岸にやってくるのか、その謎に迫ります。

○ アオバトはどういう鳴き方をするの？

アオバトの鳴き声を紹介します。

○ アオバトの羽って何枚？ 生えかわるの？

アオバトの羽の数、換羽の仕方をご紹介します。

○ アオバトはなぜ、緑色の羽をしているの？

アオバトの羽の色の秘密をご紹介します。

○ 成鳥と幼鳥で違いがあるの？

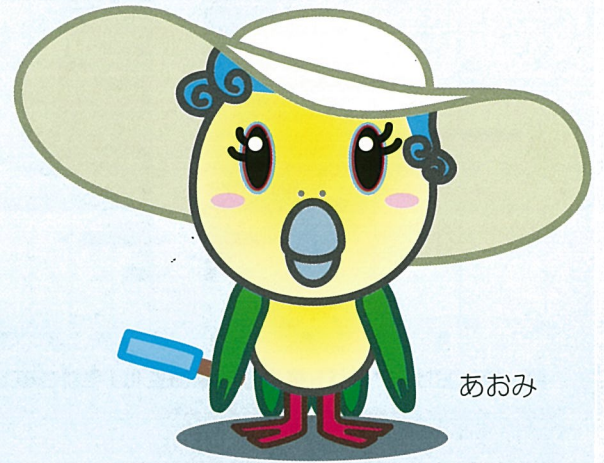
成鳥と幼鳥の体の違いをご紹介します。

○ アオバトは日本のどこで見られるの？

日本各地の確認状況をご紹介します。

○ 日本のアオバトは外国でも知られているの？

シーボルトがオランダに持ち帰ったアオバトについて紹介します。



あおみ

©2011 OISOMACHI

いそべえとあおみは町の鳥“アオバト”をモチーフにした観光キャラクターです。

●アオバト観察会

照ヶ崎海岸で講師の方にお話しをうかがいながら、アオバトの飛来の様子を観察します。

日 時：平成29年7月30日(日) 午前7時30分～9時

※小雨決行

場 所：大磯町照ヶ崎海岸

講 師：こまたん 斎藤常實さん・金子典芳さん

持ち物：筆記用具・飲み物

申込み：不要。直接、現地集合。

●アオバト講演会

こまたんによるアオバト調査の成果を中心に、企画展の内容について解説します。

日 時：平成29年7月30日(日) 午前10時～12時

場 所：大磯町郷土資料館 研修室

講 師：こまたん 斎藤常實さん・金子典芳さん

持ち物：筆記用具

定 員：60人

申込み：不要。(定員を超えた場合は、立ち見となります。)



大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL. 0463 (61) 4700 FAX. 0463 (61) 4660

<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/oisomuseum/>

交通案内

電車：JR東海道線大磯駅下車

徒歩 約30分(約2km)

バス 「二宮駅行」「国府津駅行」「湘南大磯住宅行」城山公園前下車徒歩5分

